

学校関係者評価報告書（令和5年度）

令和5年度の学校評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和5年8月27日（日）

学校関係者評価委員：

企業委員2名 卒業生委員2名 地域住民委員1名 （計5名）

評価	評価に係る提言・改善等
1. 教育理念・目標 全項目について適切に運営している。	問題なく実施されている。（全員）
2. 学校運営 ほぼ適切に運営している。 ただし、教務、募集において学園共通の新システムを導入したが、一部の募集業務については旧システムからの移行が十分に為されていない。また、教務、募集のシステム間のデータ共有については改善する必要がある。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）
3. 教育活動 ほぼ適切に運営している。 ただし、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験の通年試験化への変更に伴い、受験指導方法および授業スケジュールの見直しを行ったが、現状、大きな効果を得るに至っていない。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員）
4. 学修成果 ほぼ適切に運営している。 ただし、卒業生の動向は同窓会経由となっており、現況の把握が十分ではない。	特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。（全員） 特に今年度から実施の授業カウンセリング（学習面におけるカウンセリング）について非常に良い取り組みと考える。私の学生の頃も周囲に授業についていけない学生がおり、意欲を落としていた。そのような学生を救う手段となると思うため、継続してほしい。（卒業生）

<p>5. 学生支援 ほぼ適切に運営している。 卒業生への支援体制の一つとして、同窓会のあり方について改善したい。</p>	<p>この学校に限った話ではないが、近年の学生はコミュニケーション力が低いと感じている。今後の学生指導における課題として取り組んで欲しい。(企業委員) その他においては、特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。(全員)</p>
<p>6. 教育環境 ほぼ適切に運営している。 ただし、一部の教室において校内ネットワークの整備が完了していない。コロナ禍の収束により、遠隔授業は災害時などの一部の例外を除いて実施していないが、今後も新たな災害や感染症の発生に備えて、教育を止めない体制を整える必要がある。</p>	<p>特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。(全員)</p>
<p>7. 学生の受入れ募集 ほぼ適切に運営している。 昨年度までの状況と異なり、自校内行事やガイダンスがコロナ前に戻りつつある中、高校生や保護者への行事参加を推進し、また、高校訪問では高校教諭に対して KCS の実績や取り組みをアピールしていく</p>	<p>特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。(全員)</p>
<p>8. 財務 全項目について適切に運営している。</p>	<p>問題なく実施されている。(全員)</p>
<p>9. 法令等の順守 全項目について適切に運用している。</p>	<p>問題なく実施されている。(全員)</p>
<p>10. 社会貢献・地域貢献 全項目について適切に運用している。 社会貢献として献血活動の継続や甚大な災害が発生した場合の緊急の募金箱を設置し災害緊急支援金の積極的な募金を呼び掛けていく。</p>	<p>問題なく実施されている。(全員) コロナ禍以前に実施していた宇宙展、コズミックカレッジは参加していた児童で中学生になる者もいるが、良い思い出として記憶に残っているようだ。再開を検討してもらいたい。(地域住民) その他においては、特に問題なく課題の把握と今後の対応について自己評価が行われている。(全員)</p>

以上